

一般社団法人 日本総合健診医学会

2022年度 社員総会並びに日野原重明賞授与式のご報告

一般社団法人日本総合健診医学会の2022年度定時社員総会は、オミクロン変異株の感染拡大の影響によりリモート方式で本学会第50回大会の2日目、2022年1月29日（土）午後5時より開催されました。

総会に先立ち、石垣大会長から、2日に亘る大会は諸先生並びに大会支援本部の西崎本部長と岸本先生のご支援を賜り無事終了したこと、29日12時現在の参加登録者は事前登録と当日登録を合わせて936名もの大勢に至ったこと、2月7日からオンデマンド配信をする準備をしていること、30にも及ぶ特別講演は活発な討論が展開され何のトラブルも無くライブ配信できたこと等のご報告と参加者のご協力に対するお礼の言葉がありました。

続いて、福武理事長から石垣大会長にクリスタルガラス製の感謝状盾と記念品が贈呈されました。そして、石垣大会長に対して、当初のリアル開催計画から昨年末にハイブリッド開催へ変更、更に本年初にWEB開催に急遽変更して多大なご心労をお掛けしたことに對して労いのお言葉が掛けられました。

引き続き西崎大会支援本部長から、会員の皆さまと石垣大会長、せんだい総合健診クリニックのスタッフの方々、そしてコンベンションの方々にご負担をお掛けしたお詫びとご協力いただいたお礼、並びに感謝のお言葉がありました。

併せて、大会支援委員会は、当初の予定通り今回の大会で終了となることが報告されましたが、大会は、学術誌と並ぶ学会における学術面での存立意義そのものであることを力説され、今後もお申し付けいただければ微力ながら協力することは吝かではないとお言葉がありました。

以上の通り、石垣大会長は仙台におけるリアル開催を夢見てその実現に邁進してこられました。WEB開催となっても大成功を取って本学会に多大なご貢献をしていただきました。

総会に入り、福武勝幸理事長が議長を務め、定足

数の報告に続いて議事が進められました。

議事：

- 1号議案 2021年度 事業報告の件
- 2号議案 2021年度 決算報告の件
- 3号議案 監査報告の件
- 4号議案 任意積立金及び記念事業積立金の件
- 5号議案 2022年度 事業計画案の件
- 6号議案 2022年度 予算案の件
- 7号議案 審議員選任の件
- 8号議案 監事選任の件
- 9号議案 第52回大会長任命の件

以上のすべての議案が、議場から異議無く承認されましたが、下記のとおり補足いたします。

① 4号議案「任意積立金及び記念事業積立金の件」について

任意積立金は、特定の利用目的に限定しないで積み立てるもので、取り崩す場合は、社員総会の決議を経る必要があります。然しながら、仮に災害発生時に多額の資金を必要とするような場合、時間的余裕が無いので、緊急対応策として理事会の判断で取り崩しを可能とすることが今回の総会で承認されました。

また記念事業積立金は、次年度の当学会設立50周年に際して、記念誌作成以外の記念事業にも理事会の判断で使用することが承認されました。

② 7号議案「審議員選任の件」について

新規審議員として、宮脇尚志先生、岡田実先生、今枝さふみ先生の3名が承認されました（資料7ご参照）。

③ 8号議案「監事選任の件」について

新規監事として、及川孝光先生と富山博史先生の2名が選任、承認されました（資料8ご参照）。江幡良晴先生は、監事を2期8年務めていただき、任期満了により退任されました。

④ 9号議案「第52回大会長任命の件」について

第52回（2024年）大会長として浜田宏理事（一般財団法人倉敷成人病センター倉敷成人病健診センター 副センター長）の任命が承認されました。

以上をもって社員総会は終了しました。

この後、次期第51回（2023年）大会長と次々期第52回（2024年）大会長のご挨拶がありました。

最初に、第51回大会長の五関善成副理事長（全国土木建築国民健康保険組合 総合病院厚生中央病院循環器内科 統括部長）から次の通りご挨拶がありました。

- ・日程：2023年1月27日（金）・28日（土）
- ・会場：グランドニッコー東京 台場
コロナ感染状況は先行き不透明であるが、現時点では現地開催を基本として準備を進めている。
- ・テーマ：「次世代の総合健診を考える―多様性と可能性を求めて―」
次世代への第一歩として新しい時代における健診の方向性を示せる学会にしたい。また普段、健診業務で忙しい会員の皆さま方がお台場でリフレッシュできる大会にしたいとのことです。

続いて、第52回大会長に決まりました浜田宏先生から次の通りご挨拶がありました。

- ・日程：2024年1月26日（金）・27日（土）
- ・会場：岡山県倉敷市の「倉敷アイビースクエア」
（*）

（*岡山県随一の観光名所である倉敷美観地区の一角にある、明治時代の紡績工場跡を再利用したホテル・文化施設を併せ持つ施設）

- ・テーマ：「持続可能な優しい総合健診を探求する」
コロナ禍の長期化の影響のみならず、少子高齢化による人口減と経済の低成長が続く中、特に地方においては事業として健診を続けることが益々困難になることが懸念されている。
如何にして健診事業を継続し、健診を実施し、人々の健康を守って行くかは喫緊の課題である。また、テーマの中の「優しい」とは人への優しさ、環境への優しさ、経済への優しさという三つの面、すなわちSDGsの概念を含んで考えているとのことです。

最後に、恒例の日野原重明賞（健康予防科学賞）授与式が行なわれました。

今年の実賞者は、日野原先生の理念を継承してご活躍されている京都大学の高橋裕子特任教授で、いただいたお言葉を日野原重明賞選考委員会の林委員長が代読しました。

以上